

類別：機械器具（01）手術台及び治療台
一般医療機器 一般名称：手術台システム JMDNコード：37325000

特定保守管理医療機器

販売名：MOT-8300分離式電動手術台（スライドテーブル TYPE K）

【警告】

1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、または付属品で支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
2. 使用前に電磁的影響による誤作動の有無を確認すること。
[併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。]
3. 電気メスのコードと操作ボックスのコードを近づけたり交差させると、電磁的影響により誤作動が起きる場合があります。
誤作動が起きた場合は以下の処置を行うこと。
① 電気メスのコードを操作ボックスのコードから離す。
② 電源を切る。
③ ご購入店または弊社に連絡する。
4. 他社製手術台アクセサリ等を取り付けて使用する時は、ご購入店または弊社に相談すること。[手術台のサイドレール寸法が異なるため固定できません。]
5. 併用する機器やアクセサリを使用するときは、当該機器の添付文書または取扱説明書を読んで影響を確認すること。
[誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリに悪影響を及ぼします。]

【禁忌・禁止】

1. 手術台の設置
手術台を設置するときは、次のことをしないこと。
1. 手術台を凹凸のある床面に設置する。
2. 手術台を高くするために、コラムの下に当て物をいれる。
[手術台が転倒すると、重傷または死亡事故につながる場合があります。]
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、他の機器のキャスター等で乗り越えないこと。
[電源コードが破損して、火災や感電することがあります。]
3. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスのコードを無理に引っ張ったり、強い衝撃を与えないこと。
[操作ボックスが破損すると、手術台を操作できません。]
4. ブレーキ解除
患者を載せた状態でブレーキ解除をしないこと。
[患者が転落することがあります。]
5. テーブルトップの分離
レール受とレールの間に指を入れないこと。
[指をはさまれ怪我をする恐れがあります。]
6. 操作中の作動部
手術台の操作中、屈折操作中の背板と腰板の隙間に手を入れないこと。
[手や指を挟んで怪我をすることがあります。]

7. テーブルトップの回転

テーブルトップに患者をのせた状態では回転しないこと。
[患者が転落する恐れがあります。]

8. 改造の禁止

手術台を分解または改造しないこと。
[故障の原因になります。]

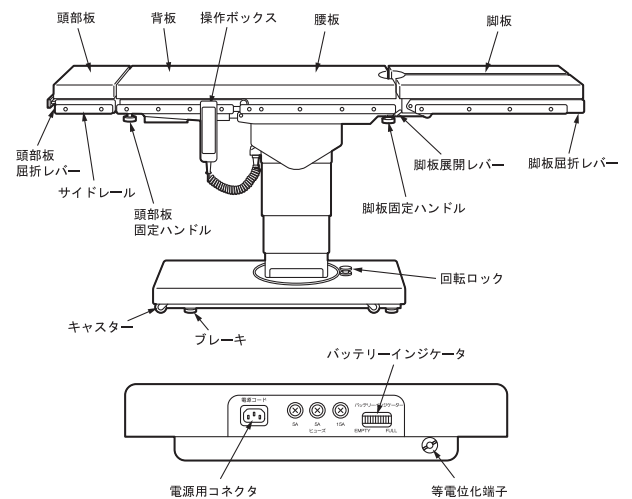
9. 手術台に患者を乗せるとき

頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。
[脚板が破損することがあります。]

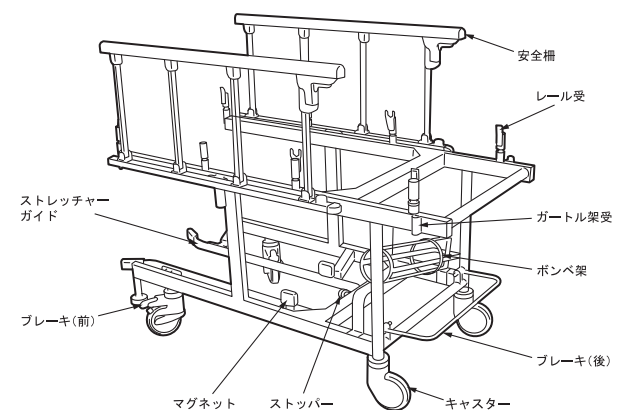
【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

① スライドテーブルトップ/コラム



② ストレッチャー



図は標準 DX ストレッチャー

取扱説明書を必ずご参照下さい。

商品コード	商品名（構成品）
08-038-31	MOT-8300 移動式コラム
08-038-51	MOT-8300 スライドテーブル T Y P E K
08-038-61	MOT-8300 用ストレッチャー
08-038-71	MOT-8300 標準 DX ストレッチャー

2. 電気定格

JIS T 0601-1 による分類 クラス I 機器（内部電源機器）

	B 形機器
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
定格電源入力	250VA
バッテリー電源	DC24V
作動電圧	DC24V

本製品は EMC 規格 JIS T 0601-1-2:2002 に適合している。

3. 外寸・質量

テーブルトップ寸法	2200 mm（長）×500 mm（幅）
コラム寸法	1023 mm（長）×463 mm（幅）
質量	コラム：237 kg／テーブル：80 kg

4. 作動原理

操作ボックスからの電気信号によってモーターが回転する。モーターの回転力は同芯上の歯車減速器及び歯車によって減速・変向される。

減速または変向された回転力は、各機能を作動するフレームに固定された同芯上の歯車を回転させるので、各機能が作動する。各機能の作動限界停止および水平復帰停止は、作動するフレームが接触することによってスイッチが働きモーターが停止する。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、完全な手術台設備を構成するいくつかのコンポーネントからなるシステムをいう。テーブルトップの交換、患者の位置変換、手術室への患者の搬入出ができる。コラム、取り外し可能なテーブルトップ、台を操作するためのリモコン、搬送台車からなる。

【品目仕様等】

1. 機能

電動

① 昇降範囲（標準）	最高位	: 1097 mm
	最低位	: 727 mm
	(-50) 最高位	: 997 mm
	最低位	: 677 mm
(-100)	最高位	: 897 mm
	最低位	: 627 mm
	最高位	: 797 mm
	最低位	: 577 mm
(-150)	最高位	: 797 mm
	最低位	: 577 mm
	最高位	: 797 mm
	最低位	: 577 mm
② 縦転角度	頭下がり	: 25°
	頭上がり	: 25°
③ 横転角度	右下がり	: 25°
	左下がり	: 25°
④ 背板屈折角度	上がり	: 85°
	下がり	: 30°
⑤ スライド量	頭方向	: 140 mm
	脚方向	: 200 mm
⑥ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／スライド	
⑦ その他	コラム固定／ブレーキ解除	
⑧ 操作機器	操作ボックス／	
	ワイヤレスリモコン（オプション）	

手動

① 頭部板屈折角度	上がり	: 60°
	下がり	: 90°
② 脚板屈折角度	上がり	: 55°
	下がり	: 65°
③ 脚板展開角度	左右各	: 90°
④ 取外し	頭部板／脚板（左右）	
⑤ コラム旋回角度	時計方向	: 180°

2. 外観

目視検査にて表面に機能を損なうような欠陥又は汚染物を認めないこと。

3. 寸法

各部の寸法が図面公差の範囲内であること。

【操作方法又は使用方法等】

機器の詳細な操作方法是取扱説明書をお読みください。

1. AC電源による使用

電源の入れ方（使用前）

- ① 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。
- ② 操作ボックスの ON/OFF スイッチを押します。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が点灯して電源が入ります。

電源の切り方（使用后）

操作ボックスの ON/OFF スイッチを押します。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が消灯して電源が切れます。

2. バッテリー電源による使用

電源の入れ方

操作ボックスの ON/OFF スイッチを押します。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が点灯して電源が入ります。

電源の切り方

バッテリー ON/OFF スイッチを OFF にします。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が消灯して電源が切れます。

3. バッテリー充電のしかた

バッテリーの充電は一週間に一度は必ず行ってください。

操作ボックスのバッテリーランプ（橙）が点滅、作動速度が遅い、または作動中にバッテリーインジケータが赤のみになった場合には直ちに充電をしてください。

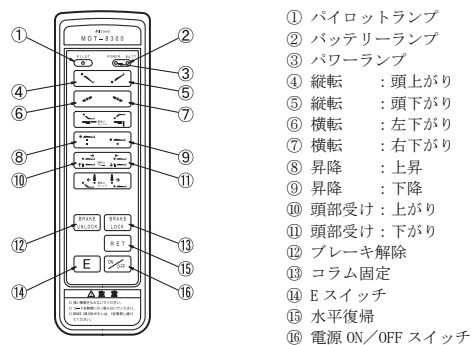
電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。充電時間は約 8 時間です。（使用頻度により異なります。）

4. 操作ボックスの使い方

操作ボックスは機能スイッチと同時に E スイッチを押します。

スイッチを押す間は作動し、離すと停止します。

各機能は最大限に達すると停止します。



5. テーブルトップの装着・分離

装着

- ① ブレーキを固定します。
- ② コラムのストレッチャーガイドに合わせて、ストレッチャーのストッパーがコラムに当たるまで挿入します。
- ③ コラムを上昇させます。テーブルトップがコラムに装着されます。
- ④ テーブルトップを装着したコラムが最高位になるまで上昇させます。
- ⑤ 最高位に達したらストレッチャーを引き抜きます。

分離

- ① テーブルトップを水平位にします。
- ② テーブルトップが最高位になるまで上昇させます。
- ③ コラムのストレッチャーガイドに合わせてストレッチャーのストッパーがコラムに当たるまで挿入します。
- ④ テーブルトップがストレッチャーのレール受手前で停止するまで下降します。停止後コラムとテーブルトップが分離します。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- ⑤テーブルトップを分離したコラムが最低位になるまで下降します。
⑥最低位に達したらストレッチャーを引き抜きます。

【使用上の注意】

詳細な使用上の注意は取扱説明書をお読みください。

1. 警告

- ① 頭部板固定ハンドルは必ず締めること。頭部板が動くと患者に障害がおきるおそれがあります。
- ② 脚板固定ハンドルは必ず締めること。脚板が動くと患者に障害がおきるおそれがあります。
- ③ 手術台の修理は弊社にて教育・訓練を受けた者が行います。修理が必要なときは必ずご購入店または弊社に依頼すること。点検・修理の教育・訓練を受けない者が点検・修理を行うと、怪我または故障の原因となります。
- ④ 感染防止のため、修理を依頼するときは必ず手術台の清掃・消毒をすること。

2. 注意

- ① バッテリーの充電は一週間に一度は必ず行うこと。
- ② ご購入後初めて使用するとき、または長い間使用しなかったときは、必ず充電して使用すること。バッテリーは未使用の状態でも自然放電します。
- ③ バッテリー電源での使用中、作動速度が遅い、操作ボックスのバッテリーランプ(Ⓔ)が点滅、または作動中にバッテリーインジケータが赤のみになった場合には、直ちに充電すること。



バッテリーインジケータ（要充電：作動時に赤のみの点灯）

- ④ 充電中、バッテリーインジケータの赤・黄・緑の全てが点灯するまではバッテリー電源で使用しないこと。必要な場合はAC電源で使用する。
- ⑤ バッテリー電源での使用からAC電源での使用に切り替える時は、必ずブレーキが固定状態であること、およびテーブルトップが完全に装着していることを確認してから行うこと。バッテリー供給電力が弱い状態ではブレーキが完全に固定できないことがあります。また、テーブルトップが完全に装着できない場合があります。
- ⑥ 充電しても作動速度が遅い、操作ボックスのバッテリーランプ(Ⓔ)が点滅、または作動中にバッテリーインジケータが赤のみの点灯の場合は故障が考えられます。ご購入店または弊社にバッテリー交換などの修理を依頼すること。
- ⑦ 本手術台で使用するバッテリーの耐用年数は約2～3年です。耐用年数を経過したら必ずご購入店または弊社にバッテリー交換を依頼すること。
- ⑧ 操作ボックスのコードをストレッチャーに引っ掛けず、コードが引っ張られ破損する恐れがあります。レール受の位置にある手術台アクセサリは取外す。またはレール受の位置からずらすこと。手術台アクセサリがレール受に当たり破損するおそれがあります。
- ⑨ 昇降範囲-100および-150 コラムから分離をする場合、テーブルトップの頭側へストレッチャーを装入しないこと。昇降を最低位まで作動したとき、コラムおよびストレッチャーを破損するおそれがあります。
- ⑩ 脚板が完全に差し込まれていることを必ず確認すること。脚板が動くと患者に障害がおきる可能性があります。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 設置環境

JIS T 0601-1 医用電気機器

一安全に対する一般的要求事項：環境条件
周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30%～75%
気圧範囲：700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10年(※)

[自己認証(弊社データ)による]

※耐用期間内であっても、使用状況または使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。

但し、一般市販品の部品については、製造元の事情(製造期間終了・製造中止等)により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

3. 定期交換部品

部品名	交換時期
バッテリー	2～3年
操作ボックス	4～6年
キャスター	5～7年
ブレーキゴム	3～5年
電源コード	5～7年

【保守・点検に係わる事項】

<使用者による保守点検>

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施してください。

1. 使用前の点検事項

- ① マット
すべてのマットに破損がないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損がないか。
- ③ 電源コードおよびプラグ
導線の露出またはプラグの破損がないか。
- ④ 電源スイッチ
電源スイッチを押して、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。
- ⑤ バッテリー電源
操作ボックスのバッテリーランプが点灯するか。
- ⑥ ストレッチャー
ストレッチャーの直進・フリー・固定およびキャスターの固定が確実に行えるか。
- ⑦ 分離・装着
テーブルトップとコラムの分離・装着が確実に行えるか。
- ⑧ 操作ボックス
操作ボックスのスイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。
- ⑨ 手動操作部
頭部板・脚板・コラム回転等の手動機能が正常に操作できるか。
- ⑩ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2. 使用後の点検事項

- ① マット
すべてのマットに破損または汚れがないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損または汚れがないか。
- ③ バッテリー充電
バッテリー充電が正常に行えるか。

3. 清掃・消毒の手順

- ① 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外す。
- ② 使用する消毒剤の表示または説明書の内容を確認する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- ③ 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭する。

＜業者による保守点検＞

1. 定期点検

本装置を安全に使用するために、1年に1回のメーカーによる定期点検を推奨します。希望される場合、購入店または弊社に相談してください。

2. 修理・調整

修理及び調整は弊社及び弊社が認めた修理業者のみが実施可能です。それ以外の業者による修理、調整や保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下及び過度の点検修理費用の発生等の事態を招くおそれがあります。

本装置が故障したと思われる時は、後述の処置を行い、購入店または弊社に連絡してください。

1. 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外す。
2. 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要・点検必要」等の適切な表示をする。

【包装】

1台 1包装

【保証期間に係わる事項】

本品は納品/設置してから一年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：ミズホ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号

TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社千葉工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。